

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成25年2月7日(2013.2.7)

【公表番号】特表2012-514992(P2012-514992A)

【公表日】平成24年7月5日(2012.7.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-026

【出願番号】特願2011-545778(P2011-545778)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 14/435 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/06 (2006.01)

A 6 1 P 25/08 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/20 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/12 (2006.01)

A 6 1 P 15/10 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 14/435

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 25/04

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 25/06

A 6 1 P 25/08

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 25/20

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 9/12

A 6 1 P 15/10

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月11日(2012.12.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下のアミノ酸配列：
【化 1】

YCQKFLWTCDSEPCCEGLVCRLWCKIN (配列番号：1)

を有するペプチド又はその誘導体。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のペプチドをコードする核酸。

【請求項 3】

前記核酸配列が、以下の：

【化 2】

5' TAY TGY CAR AAR TTY YTN TGG ACN TGY GAY WSN GAR MGN
CCN TGY TGY GAR GGN YTN GTN TGY MGN YTN TGG TGY AAR ATH
AAY 3' (配列番号：3)

であり、ここで、Aがアデノシンであり、Cがシチジンであり、Gがグアノシンであり、Tがチミジンであり、かつ、HがA又はC又はTであり、MがA又はCであり、NがA又はC又はG又はTであり、RがA又はGであり、SがC又はGであり、WがA又はTであり、そしてYがC又はTである、請求項 2 に記載の核酸。

【請求項 4】

請求項 2 に記載の核酸を含む、プラスミド及び／又は発現ベクターを含む、発現系。

【請求項 5】

T型カルシウムチャンネルの拮抗薬としての、請求項 1 に記載のペプチドのインビトロでの使用。

【請求項 6】

前記チャンネルが、Cav3.2チャンネル及びCav3.1チャンネルを含む群から選ばれるチャンネルである、請求項 5 に記載の使用。

【請求項 7】

T型カルシウムチャンネルの拮抗薬としての請求項 1 に記載のペプチドを含む、医薬品。

【請求項 8】

前記チャンネルが、Cav3.2チャンネル及びCav3.1チャンネルを含む群から選ばれるチャンネルである、請求項 7 に記載の医薬品。

【請求項 9】

請求項 1 に記載のペプチド又は請求項 2 に記載の核酸を含む薬物。

【請求項 10】

前記薬物が、疼痛の治療を目的とする薬物である、請求項 9 に記載の薬物。

【請求項 11】

前記薬物が鎮痛剤である、請求項 9 又は 10 に記載の薬物。

【請求項 12】

固体基板上での化学合成のステップ又は遺伝子組み換えによる合成のステップを含むことを特徴とする、請求項 1 に記載のペプチドの合成方法。